

理化学研究所アドバイザー・カウンシル (RAC)

第4回会議の開催について

理化学研究所（小林俊一理事長）は、6月4日から7日までの4日間、理化学研究所アドバイザー・カウンシル（RAC）の第4回会議を開催します（参考資料1）。このRACは、理研のさらなる発展のため、理事会議の運営方針を含めて理研の活動全般を評価し、理事長に対して助言、提言を行うもので、2～3年毎に開催することとしています。今回のメンバーは、ノーベル賞受賞者を含む世界的な科学者14名（日本人7名、外国人7名）です（参考資料2）。会議日程は別紙のとおりです。

RACについて

- (1)理研ではかねてより、個々の研究活動、研究プログラムごとの外部評価を進めてきました。一方、各研究組織の運営に関しては、個別にアドバイザー・カウンシルを設けて助言を求めています。これに対しRACは、理化学研究所全体としての活動と運営に関し助言を求めるものです。
- (2)RACの第1回会議（平成5年6月開催）、第2回会議（平成7年6月開催）及び第3回会議（平成10年6月開催）では、理研が優れた研究成果を挙げていること、研究活動を評価する制度を備えていること、優れた研究設備を整備するとともに外部研究者への開放を積極的に進めていることなどが高く評価されましたが、「終身職研究員の採用方法の改善」、「若手の終身職研究員が独自の研究プロジェクトを主宰できるような仕組みの整備」、「外国人研究者への支援業務の充実」、「長期的方針の策定」などの項目について提言がなされ、理研ではこれら提言を踏まえ様々な改善策を講じてきました。
- (3)最近の理研組織の拡大に呼応し、今回の第4回会議からは委員の構成、会議の運営方法を変更しました。委員は、各研究組織毎のアドバイザー・カウンシルの委員長及び広い分野の学識経験者の方々に依頼しました。議長には、Prof. H.G.Friesen（カナダゲノム会議議長）が指名されました。会議では、前回の会議以来、理研が講じてきた施策を説明するとともに、理研の活動全般を改めて評価し、さらなる発展のために助言、提言がなされることを期待しています。

(問い合わせ先)

独立行政法人理化学研究所

アドバイザー・カウンシル事務局

大窪 道章

Tel : 048-467-9223 / Fax : 048-467-8091

(報道担当)

独立行政法人理化学研究所 広報室

嶋田 庸嗣

Tel : 048-467-9272 / Fax : 048-462-4715

Mail : koho@riken.go.jp

<参考資料 1>

理化学研究所アドバイザリー・カウンシル第4回会議の開催について

1 設置の趣旨

理化学研究所（以下「理研」という。）は、物理学、化学、工学、生物科学、医学と非常に幅広い基礎科学及び科学技術分野にわたり、独自の研究室制度、研究センター等により、自由な雰囲気のもとで自立的な研究を行うことができる、大学等とも、国立研究機関とも異なる独特な研究機関である。このような自由で、柔軟な研究環境のもとで、理研は、80余年にわたって多くの優れた研究成果を生み出してきた。

自由であり、自立的であることは、自然科学の研究のためには必須の条件であるが、その反面、一人よがりの独善的であってはならず、公正な第三者そして社会からの批判、助言に対して、常に謙虚でなければならない。RACの設置の目的は、研究所の運営にあたる理事会が、その助言によって、自ら気付かなかった長所を発見し、または欠点を認識し、さらに将来への大きな発展の方向を探求しようとするものである。これらによって、理研を国際化社会の中で価値ある研究所に仕上げたいこうとするものである。

2 RACの機能

RACは、2～3年ごとに、理事会の運営方針を含めて理研の活動全般をレビューし、理事長に対して助言、提言を行なう。

3 RACの構成

- (1)RACは、国内外の15人程度の有識者をもって構成する。
- (2)議長及び委員の選考は、理事長を委員長とする選考委員会が行う。

4 RAC 第4回会議の開催

- (1)日時：2000年6月4日から7日までの4日間（日程は別紙のとおり）
- (2)場所：和光、東京
- (3)今回の諮問事項：
 - ・各研究組織毎のアドバイザリー・カウンシルからの報告事項、提言についての検討
 - ・理研全体としての研究組織構造の妥当性についての検討
 - ・理研の将来についての助言

<参考資料 2>

RAC メンバーリスト(第4回)(開催日:June4-7, 2000)

● : 議長

* : 副議長

●ヘンリー・G・フリーゼン カナダゲノム会議議長 (加) (ILAC 委員長)
(内分泌学)

Prof. Henry G. Friesen

Chair, Board of Genome Canada, Canada

* 朽津耕三 城西大学教授、東京大学名誉教授 (物理化学)

Prof. Kozo Kuchitsu

Dept. of Chemistry, Josai University, Professor Emeritus, University of Tokyo,
Japan

西島 安則 京都市立芸術大学学長、元京都大学総長 (FRAC 委員長)(高分子化学)

Prof. Yasunori Nishijima

President, Kyoto City University of Arts, Former President of Kyoto University,
Japan

ミシェル・クエノ スリー大学精神科病院、精神神経科学研究センター、前国際 HFSP
事務局長

(スイス)

(BSAC 委員長) (医学)

Prof. Michel Cuenod

Hopital Psychiatrique Universitaire de Cery

Centre de Recherche en Neurosciences Psychiatriques, Switzerland

Former Secretary General, International Human Frontier Science Program

西村 暹 萬有製薬(株)、つくば研究所名誉所長 (GSAC 委員長) (生物学)

Dr. Susumu Nishimura

President Emeritus, Tsukuba Research Institute, Banyu Pharmaceutical Co.,Ltd,
Japan

生駒 俊明 日本テキサス・インスツルメンツ株式会社社長、東大生産技術研究所客
員教授 (電気電子工学)

Prof. Toshiaki Ikoma

President, Texas Instruments Japan Limited,

Guest Prof., Institute of Industrial Science, University of Tokyo, Japan

井村 裕夫 科学技術会議議員、前京都大学総長 (内分泌学、糖尿病学)

Prof. Hiroo Imura

Member of Council for Science and Technology, Former President of Kyoto
University, Japan

金森 順次郎 国際高等研究所学術参与、前大阪大学総長 (量子物理学)

Prof. Junjiro Kanamori

Academic Counselor, International Institute for Advanced Studies,
Former President of Osaka University, Japan

ジェラルディン・A・ケニーウォレス

英国航空宇宙システム取締役及び英国 BAe バーチャル大学副学長 (英) (化学、物理)

Dr. Geraldine A. Kenney-Wallace

Managing Director in British Aerospace Systems and Vice-Chancellor of the
British Aerospace Virtual University、UK

ユアン・T・リー 台湾アカデミー総裁 (台) (化学、ノーベル賞受賞)

Dr. Yuan Tseh Lee

President of Academia Sinica, Taiwan

野中 郁次郎 一橋大学大学院、国際企業戦略研究科教授 (経営組織論、マーケティング論)

Prof. Ikujiro Nonaka

Graduate School of International Corporate Strategy, Hitotsubashi University,
Japan

ギィ・ウリソン フランス・科学アカデミー総裁 (仏) (化学)

Prof. Guy Ourisson

Le President、Academie des Sciences, France

ハンス・L・R・ウィグゼル教授 カロリンスカ研究所長 (スウェーデン) (免疫学)

Prof. Hans L. R. Wigzell

President, Karolinska Institutet, Sweden

ポール・R・ウィリアムス 前 CCLRC 議長 (英) (核物理)

Dr. Paul R. Williams

Former president of Council for the Central Lab. of the Research Councils, UK

<別紙>

第4回 RAC 会議日程(案)

6月4日(日) (於: 宿泊ホテル)

18:30~20:30 予備会議

6月5日(月) (於: 理研和光本所)

10:00~12:00 理研の運営全般に係る説明及び討議

前回 RAC 提言への対応、その後の理研運営の進展、今後の方針・計画等を説明。)

13:30~15:30 主任研究員研究室の活動に係る説明及び討議

15:45~17:45 フロンティア研究システムの活動に係る説明及び討議

6月6日(火) (於: 理研和光本所)

10:00~12:00 脳科学総合研究センターの活動に係る説明及び討議

13:30~15:30 ゲノム科学総合研究センターの活動に係る説明及び討議

17：00～21：00 RAC 委員のみの討議（RAC 各委員の個人所見作成等）
6月7日（水）（於：宿泊ホテル）
9：00～12：30 RAC 委員のみの全体討議（報告書作成）
14：00～15：30 14：00～15：30 全体会議（RAC から理研への報告および閉会）

（注）この RAC 会議日程（案）は、予備会議において提案されるものであり変更される場合がある。